

2年次選択科目 消化器内科臨床研修プログラム

1. 研修施設

獨協医科大学病院

2. 研修期間

1か月～6か月

3. 指導体制

指導責任者： 平 石 秀 幸 教 授

主任指導医： 室 久 俊 光

4. 診療・研修の特徴

- ① 内科医、消化器病専門医として十分な知識・技能を備えた指導医によるマンツーマンの指導とともに、グループ単位で入院患者の診療に携わる。
- ② 患者および家族、コメディカルスタッフとのコミュニケーションを良好に保ち、モラルの高い診療が行えるよう研修する。
- ③ 消化器疾患の病歴、身体所見を的確にとることができるよう研修する。
- ④ 代表的な消化器疾患の病態生理を理解し、適切なアプローチと治療選択ができるよう研修する。
- ⑤ 消化器領域の救急疾患に対する対処法を学ぶ。
- ⑥ 全身状態の重篤な患者に対する呼吸・循環などの全身管理法を学ぶ。
- ⑦ 主要な検査手技を見学・習得し、その結果に対する適切な判断を学ぶ。
- ⑧ 消化器疾患の手術適応、術前評価を学ぶ。
- ⑨ ターミナルケアについて学ぶ。
- ⑩ 教授回診、カンファレンスにおいて症例を提示する能力を習得する。
- ⑪ 各種カンファレンスにおいて、消化器外科、放射線科、病理医などとの討論に参加し、消化器疾患についての見識を深める。

5. 研修目標

基本的医療技術を指導のもと実施する。

循環器・肺循環疾患に対する病態生理、診断、治療を総合的に理解し修得する。

基本的 診断・ 検査法	一般目標 (GIO)
	消化器領域における基本的診断・検査法を習得する
	到達目標 (SBO)
	血液検査一般、生化学検査、肝炎ウイルスマーカー、腫瘍マーカーなどの各種データの評価ができる
	OGTT、ICG、PFD 試験などの負荷試験を行える
	胸部・腹部 X 線検査 (単純、上部・下部消化管造影、胆道・膵管造影) の読影ができる
	内視鏡検査 (上部・下部消化管) を行える
	カプセル内視鏡の適応が決められる
	腹部超音波検査ができる、カラードップラー検査の所見がとれる
	腹腔穿刺が実施できる
	腹部を中心とした CT 検査、MRI 検査の読影ができる
	腹部血管造影検査の助手ができる、読影ができる
	腹腔鏡、肝生検の助手ができる
	生検組織検査の所見が言える

基本 的 治 療 法	一般目標 (GIO)
	消化器内科における基本的治療法を習得する
	到達目標 (SBO)
	生活指導、食事療法の説明ができる
	薬物療法の戦略が立てられる
	イレウス管挿入による減圧術ができる
	食道・胃静脈瘤に対する治療としての S-B チューブ挿入ができる、内視鏡的結紮術、内視鏡的硬化療法の適応が決められる
	消化管腫瘍に対するポリペクトミー、粘膜切除術、粘膜下層剥離術の適応が言える
	消化管出血に対する内視鏡的止血術の助手ができる
	肝腫瘍に対する肝動脈化学塞栓療法の適応が決められる
	肝腫瘍に対するエタノール局注療法およびラジオ波焼灼療法の適応が言える
	内視鏡的乳頭切開術およびバルーン拡張術の適応が言える
	経皮経肝胆道ドレナージ、経鼻胆道ドレナージなどの減黄術の助手ができる
	総胆管結石碎石術の適応が決められる
	肝動注療法の適応が言える
	炎症性腸疾患に対する体外循環治療の適応が説明できる
	放射線療法の適応が決められる
	消化器疾患の手術適応の相談が出来る
	劇症肝炎の治療戦略が説明できる

6. 経験が望まれる症状

全身倦怠感 黄疸 浮腫 腹痛 悪心・嘔吐	嚥下困難・障害 食思不振 便秘・下痢 吐血・下血 腹部膨満・腫瘍
----------------------------------	--

7. 経験が求められる疾患、病態

食道炎、食道潰瘍 Mallory-Weiss 症候群 食道上皮性腫瘍（良性腫瘍、癌） 食道非上皮性腫瘍（粘膜下腫瘍、肉腫） Barrett 食道 食道憩室 食道裂孔ヘルニア アカラシア 食道・胃静脈瘤 急性胃炎 胃・十二指腸潰瘍 胃上皮性腫瘍（良性腫瘍、癌） 胃非上皮性腫瘍（粘膜下腫瘍、肉腫） 胃・十二指腸憩室 炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病） 感染性腸疾患 虚血性腸炎 薬剤性腸炎 大腸上皮性腫瘍（良性腫瘍、癌） 大腸非上皮性腫瘍（粘膜下腫瘍、肉腫） 消化管ポリポーシス 消化管悪性リンパ腫、MALT リンパ腫	腸閉塞 急性肝炎、慢性肝炎 重症肝炎、劇症肝炎 肝硬変（肝性脳症、腹水） 原発性胆汁性胆管炎、自己免疫性肝炎 アルコール性肝障害、薬物性肝障害 脂肪肝、代謝性疾患に伴う肝障害 非アルコール性脂肪肝炎 良性肝腫瘍 原発性肝癌、転移性肝癌 肝膿瘍 特発性門脈圧亢進症 原発性硬化性胆管炎 胆石症（肝内、胆嚢内、総胆管） 胆嚢炎、胆管炎 胆嚢・胆管良性腫瘍、胆嚢腺筋症 胆嚢癌、胆管癌 急性膵炎、慢性膵炎、自己免疫性膵炎 膵嚢胞 膵癌、膵嚢胞性腫瘍 腹膜炎 機能的胃腸症 神経内分泌腫瘍
--	--